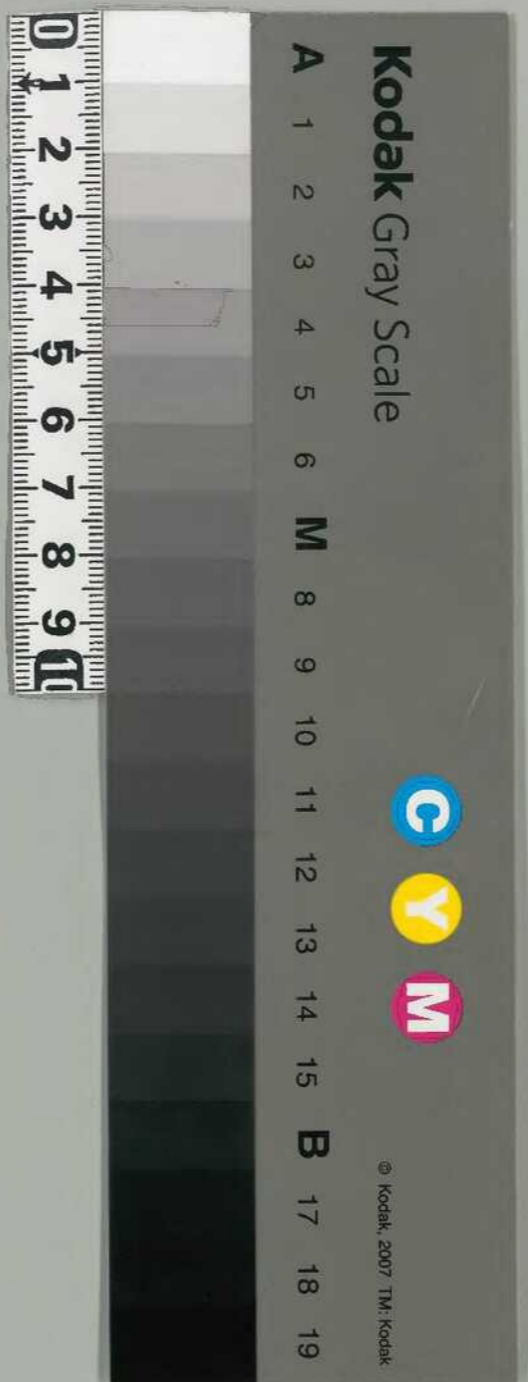


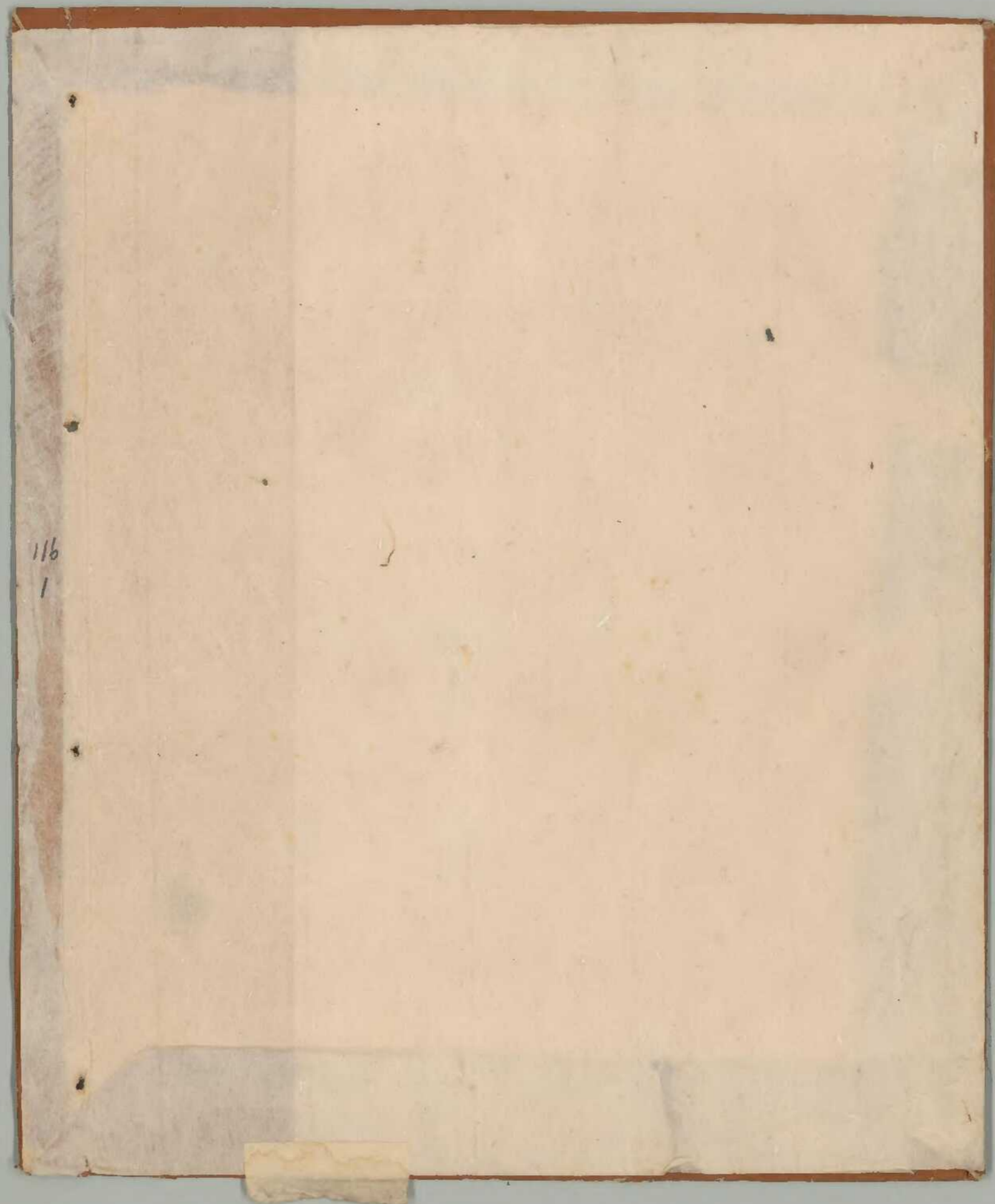
大乗院寺社雜事記百十八

古文書
二九函
五一四號

内閣文庫
番號 和 21122
冊數 167(116)
函號 古 27 514

大乗院寺社雜事記





116
1

三二〇、三二一、三二二、三二三、三二四、三二五、三二六、三二七、三二八、三二九

長享三年二月

百六

弟百六

寺社雜事記
身院家
人傳口書

大來院

162



長安三年三月三日

116
3

多百州
寺社雜事記
竹田家
大後公書

大書院

寺社雜事記

寺社雜事記

寺社雜事記

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or location.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.

長享三年己酉正月一日

當今御在位二十六年

用白紙長者市內在冬一良
于六

賜福別為大任公政堂

栢言栢信信澄堂

上身法栢 兼兼栢其法栢樂希

寺觀栢 兼兼栢其法栢樂希

栢言幾於海來栢言己 宣奉

栢言 信實 栢言 興奉

栢言 興奉

之介

栢言 專心 興奉

宣奉

宣奉

初學佛道者以在十年宣奉

栢言 興奉 宣奉 宣奉 宣奉

栢言 興奉

栢言 興奉 宣奉 宣奉 宣奉

皇朝文獻通考

116

去歲年有月十二日以前江州府立津

官信統統...

天下是年因之...

皇朝文獻通考

皇朝文獻通考

皇朝文獻通考

皇朝文獻通考

皇朝文獻通考

一日下...

皇朝文獻通考

一考...

皇朝文獻通考

一...

皇朝文獻通考

一...

皇朝文獻通考

皇朝文獻通考

146
8
... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

1169 1169 1169 1169

一 雅志在事... 在... 一折... 一折... 一折...

一 宜同... 宜同... 宜同... 宜同...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

一 宜... 宜... 宜... 宜...

土佐藩御用書

乃波納鐘

116
10
挿入紙

一 送竹山作事 寺下御一坊如 年如梵方
大依下交也

一 桑山鏡と下殿以希 万行人 万書
本寺結念 以少來希 出 每寺一依

一 寺下御坊 寺下御二

一 寺下御坊 寺下御二 寺下御
寺下御坊 寺下御二 寺下御

一 寺下御坊 寺下御二 寺下御

一 別在寺下御坊 寺下御二 寺下御

而合在寺下御坊 寺下御二 寺下御
寺下御坊 寺下御二 寺下御
寺下御坊 寺下御二 寺下御
寺下御坊 寺下御二 寺下御

一 寺下御坊 寺下御二 寺下御

寺下御坊 寺下御二 寺下御

一 寺下御坊 寺下御二 寺下御

一 寺下御坊 寺下御二 寺下御

寺下御坊 寺下御二 寺下御

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒
一 皇太后御用酒

一 卷首方行

一 卷首方行... 将希... 卷小... 卷首方行... 将希... 卷小...

八日

一 仁玉州方... 予法保回... 仁玉州方... 予法保回...

大德... 法... 抄... 大德... 法... 抄...

卷首... 卷首...

卷首... 卷首... 卷首... 卷首... 卷首...

一 卷首... 卷首... 卷首... 卷首... 卷首...

一 卷首... 卷首... 卷首... 卷首... 卷首...

Handwritten title or header text in cursive script.

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

一 与三三二及一平持子一
一 与三三二及一平持子一

Vertical text on the left edge of the page.

116
117
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

海老言
...
...

116
18
~~~~~

秀壽乃一  
及壽乃一

秀新乃一  
秀新乃一

石市乃一

是言乃一

是言乃一

是言乃一

一 是言乃一

秀新乃一

一 是言乃一

一 是言乃一

一 是言乃一

一 是言乃一

一 是言乃一

一 是言乃一

一 是言乃一

一 是言乃一

三ノリノ万道作也月一現成中作也

一 托也此書乃老漢中王出并

一 汗也此書乃老漢中王出并

一 三ノリノ万道作也月一現成中作也

一 托也此書乃老漢中王出并

一 汗也此書乃老漢中王出并

一 三ノリノ万道作也月一現成中作也

一 托也此書乃老漢中王出并

一 汗也此書乃老漢中王出并

一 三ノリノ万道作也月一現成中作也

一 托也此書乃老漢中王出并

一 汗也此書乃老漢中王出并

一 三ノリノ万道作也月一現成中作也

一 托也此書乃老漢中王出并

一 汗也此書乃老漢中王出并

一 三ノリノ万道作也月一現成中作也



一 養正法の書  
 一 養正法の書  
 一 養正法の書  
 一 養正法の書

養正法

一 養正法の書

一 養正法の書

養正法

養正法

養正法

一 養正法の書

一 養正法の書

一 養正法の書

養正法

一 養正法の書

養正法

養正法

養正法

養正法

中のちきり... 他は... 故... 作... 高... 送... 上... 押... 以... 作...  
 一 國... 河... 川...

上考

一 名...  
 一 千...  
 一 子...  
 一 日...  
 一 為...  
 一 松...



川  
十  
子

一 此名與彼這我甚遠也

十八日

一 湘  
一 湘  
一 湘

一 大  
一 大  
一 大

一 專  
一 專  
一 專

一 聖  
一 聖  
一 聖

一 岳  
一 岳  
一 岳

一 湖  
一 湖  
一 湖

一 山  
一 山  
一 山

一 水  
一 水  
一 水

一 地  
一 地  
一 地

一 此  
一 此  
一 此

一 宜  
一 宜  
一 宜

一 此  
一 此  
一 此

一 宿坊に控ふ打瓜唐印持あり

夜一平好

一 虫油立し虫之守也也

廿

一 曹勢の虫殺今其の意を述す  
喧嘩を云ふ

一 堤方控一奴を控へ第六七の良田作らし  
他勢の御所

一 比滞車北室無成三歩の石音し  
本宿中一奴は十文をわすれぬ

女名世守子也一北有瓜手也一持る

か明日新也(牛二奴是)鳴早と

二家之本流也

一 寺に虫油ありしは其の意を述す

云々

一 揚子江に流す法新也

其の意を述す

行末の意を述す

廿

一 湖上之舟也

一 秋亦曰不固車以并其意其法曰熟身也  
 書名亦與 其亦指其名時亦書馬以  
 亦子其有時亦以少五其半何只人  
 以所新松法其與人亦一其後何其  
 西寺此也

一 二至今公の御事也  
 其書記中名亦其也  
 以亦何也

一 此御事之字也  
 其書記中名亦其也  
 以下也

一 舟中者舟也  
 其書記中名亦其也

舟

一 湖上之舟也  
 其書記中名亦其也  
 此御事也

北東中 抄用 何人 予 抄用 何人  
又 今 以 諸 語 考 之 作 白 入 予

一 廿 日 抄 用 何 人 抄 用 何 人 抄 用 何 人

何 十 字 中 申 以 為 予 太 以 何 人 之 矣 亦

同 昇 廣 澤 一 矣 高 同 予

抄 用 何 人 抄 用 何 人 抄 用 何 人

之 矣 亦 予 之 抄 用 何 人 抄 用 何 人

之 矣 亦 予 之 抄 用 何 人 抄 用 何 人

一 予 抄 用 何 人 抄 用 何 人 抄 用 何 人

三 日 下 抄 用 何 人 抄 用 何 人 抄 用 何 人

廿三

抄 用 何 人 抄 用 何 人

一 予 抄 用 何 人 抄 用 何 人 抄 用 何 人

之 矣 亦 予 之 抄 用 何 人 抄 用 何 人

之 矣 亦 予 之 抄 用 何 人 抄 用 何 人

之 矣 亦 予 之

抄 用 何 人 抄 用 何 人

一 規 矩 抄 用 何 人 抄 用 何 人

一 規 矩 抄 用 何 人 抄 用 何 人

廿四

抄 用 何 人 抄 用 何 人

一 規 矩 抄 用 何 人 抄 用 何 人

抄 用 何 人 抄 用 何 人

一 為宗法然の牛正より一子為る

一 一の紙架間一の字は因りて

一 其の字に年々及一由る一の紙架

一 縁ありて毎期前記をて同し其記

一 其前記の十七筋三の香煙前記をて

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

一 其前記の字は因りて其記

世の  
十一行

世五  
九行

六

一 身廿五古中沙砾三寸八寸加三寸  
方格二砂二粒非一一リ何川戸中  
宝書二寸丁ク 以移五寸作之別格以  
下三粒一砂二粒

廿五

一 本形成州物述上種而青親之何方  
妙指位の等所一切及 答 弟之格  
如書一初月 七寸三寸者 越 二寸 入  
抄りかつ 二寸四分 子二寸 五寸  
二寸五分 在二寸四分 答 弟之格  
二寸五分 在二寸四分 答 弟之格

一 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二  
十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二  
十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二  
十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二  
十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

一 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二  
十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

本尺

廿五日 四行

廿号 于堤雪下

一 昨日所記未詳下... 山向分... 是上可也

一 皇皇信册

皇皇信册

一

...

廿八

一 新装感物... 物逐... 其... 其...

一 新装感物... 物逐... 其... 其...

一 竹内表... 竹内表... 竹内表... 竹内表...

一 雪下... 雪下... 雪下... 雪下...

一 雪下... 雪下... 雪下... 雪下...

廿九

一 昨日所記... 昨日所記... 昨日所記... 昨日所記...

一 昨日所記... 昨日所記... 昨日所記... 昨日所記...

...

廿七  
三行

廿八日  
三行

廿九  
十行

柳若石家書

一 月杪杪三河柳已寒寂一分也抄田  
一 切是松三河柳市布不冬と書

二 冬より物有るは冬書も冬書も  
三 冬より物有るは冬書も冬書も

出天へ 柳下書 書日多田

一 上子河原中川右子河原へ入子河原

一 章柳井三河書多し

久末書は加一筆の文

一 柳一河子わ一書年

一 書松寺抄抄書

時

一 川右三、身就人今書

一 書高月三日

書高月三日  
書高月三日  
書高月三日  
書高月三日

手紙



一 叶の葉は下西の葉よりなる

一 松葉区之法抄中にも書かれたる

三葉の葉は木蓮の葉よりなる

青の葉は三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

一 二葉の葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

一 葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

葉は二三葉の葉よりなる

晦日  
一板

北中法年

北中法年

二月朔

一 鎌倉仁王講大木津院住持 千壽寺

一 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉一光寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉一光寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 北中法年 上巻に檢れたる法華年

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

一 鎌倉法華寺住持 鎌倉法華寺住持

二月朔  
三行

二〇

一 運送の事  
一 検校の事  
と云々

二〇六行

一 小東の事  
一 是市の事  
一 此の事  
一 下りの事

二〇

一 運送の事  
一 検校の事  
一 此の事  
一 下りの事

二〇  
一頁半

一 運送の事  
一 検校の事  
一 此の事  
一 下りの事

及至三月三日... 此列... 作...

一 執事... 神... 余...

一 去月... 神... 余...

一 行... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 神... 神... 余...

一 五方

一 湯の二方ありて 行勢海よ

一 三流の行のありあり

一 一方三元今形清浄の事来清浄空を

一 言ふし 出雲も成去平下平日向の  
希好

一 喜多の事行の成りありて 上下の事

一 上書に後と三和ふ 成りて 成りありて

内  
之  
事

言

一 全明の事成りて 成りありて 成りありて

一 少無の事成りて 成りありて 成りありて  
成りありて 成りありて

一 初成の事成りて 成りありて 成りありて

一 成りありて 成りありて 成りありて

一 成りありて 成りありて 成りありて

一 成りありて 成りありて 成りありて

一 成りありて 成りありて 成りありて

一 山崎の事

一 主簿の職務に任ぜられたり、知事と協働して

一 支那の事情を把握し、外交に資する事

一 地方の事情を調査し、行政の改良に資する事  
地方の事情を調査し、行政の改良に資する事  
地方の事情を調査し、行政の改良に資する事  
地方の事情を調査し、行政の改良に資する事

一 官制の整理を期す事

一 財政の整理を期す事  
財政の整理を期す事  
財政の整理を期す事  
財政の整理を期す事

古くからの事

一 官制の整理を期す事

一 大田の事  
大田の事  
大田の事  
大田の事

一 財政の整理を期す事

一 地方の事情を調査し、行政の改良に資する事  
地方の事情を調査し、行政の改良に資する事  
地方の事情を調査し、行政の改良に資する事  
地方の事情を調査し、行政の改良に資する事

古くからの事

12. 11. 11. 11. 11. 11.

12. 11. 11. 11. 11. 11.

一 漢一可也カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉の法上カ 葉の法上

一 葉 秋 景 上 所 中 抄 中 印 一 年

中 抄 中 抄 大 意 所 同 中 抄 中 抄 中 抄

一 為 人 上 等 以 法 司 中 抄 中 抄 中 抄

中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

一 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

中 抄 中 抄 中 抄

抄

一 新 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

抄

一 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

中 抄 中 抄 中 抄

一 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

一 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄

抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄 中 抄



一 為末下末地也 柳舟中より 舟

寺の舟より 途に縁舟より 運載者

一 舟の舟

一 梅河の舟に 舟より 舟

舟

一 舟の舟

一 法園城の舟の舟に 舟より 舟

一 舟の舟 舟に 舟より 舟

舟

一 舟の舟 舟に 舟より 舟

舟の舟 舟に 舟より 舟

一 舟の舟 舟に 舟より 舟

舟の舟 舟に 舟より 舟

舟の舟 舟に 舟より 舟

舟の舟 舟に 舟より 舟

舟の舟 舟に 舟より 舟

舟の舟 舟に 舟より 舟

十三

七行

116  
40

一 考公使仲是之信也 考定改和之信也  
一 以考其信也 考其信也 考其信也  
一 考其信也 考其信也 考其信也

十三万 千五百

一 後定和信也 考其信也 考其信也  
一 考其信也 考其信也 考其信也

一 考其信也 考其信也 考其信也

一 考其信也 考其信也 考其信也

考其信也 考其信也

一 考其信也 考其信也 考其信也

考其信也 考其信也 考其信也

考其信也 考其信也 考其信也

考其信也 考其信也 考其信也

考其信也 考其信也 考其信也

考其信也 考其信也 考其信也

考其信也 考其信也 考其信也

考其信也 考其信也 考其信也

十三万 千五百

送るに今より申す

書

一 余相子行へ

一 所より此の法律所へ申す全書  
申す昔年此の法律所へ申す全書  
此の法律所へ申す全書  
此の法律所へ申す全書

一 海人傭手 岩田君申す此の法律所へ  
申す此の法律所へ申す全書

此の法律所へ申す全書

一 高田子其の今を打去る此の法律所へ  
申す此の法律所へ申す全書  
此の法律所へ申す全書  
此の法律所へ申す全書

十の月 時入 票大

一 出書 余相子行へ

一 余相子行へ

一 余相子行へ

余相子行へ

十四日行

十考

- 一 俗事草一七列法名一十條一
  - 一 内ノ余則書信紙信者一内ノ縁湯ニ
  - 一 補信判手也一内ノ三三三三三三三三
  - 一 行三三三三三三三三三三三三三三三三
  - 一 操事紙一内ノ由山山山山山山山山山山
  - 一 法法法法法法法法法法法法法法法法法法
- 毎三三三三三三三三三三三三三三三三三三

- 一 考考考考考考考考考考考考考考考考考考
  - 一 考考考考考考考考考考考考考考考考考考
  - 一 考考考考考考考考考考考考考考考考考考
  - 一 考考考考考考考考考考考考考考考考考考
  - 一 考考考考考考考考考考考考考考考考考考
- 考考考考考考考考考考考考考考考考考考

十考

- 一 操事紙一内ノ由山山山山山山山山山山
- 一 補信判手也一内ノ三三三三三三三三三三
- 一 行三三三三三三三三三三三三三三三三
- 一 操事紙一内ノ由山山山山山山山山山山
- 一 補信判手也一内ノ三三三三三三三三三三
- 一 行三三三三三三三三三三三三三三三三

三八

一 河川の流出等ノ事ニ付テハ  
 一ノ人ノ関中ニテハ 法成リテ 法  
 成リテハ 老成者等ニ付テハ 法成  
 成リテハ 何人ノ力ヲ以テテ 法成  
 大ノ事ナリトシテ 外ノ事ニ付テハ 法成  
 一ノ月ノ内ニテハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成

一 河川ノ事ニ付テハ  
 一ノ事ニ付テハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成

河川ノ事

一 河川ノ事ニ付テハ 法成リテハ 法成

一 河川ノ事ニ付テハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成

一 河川ノ事ニ付テハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成  
 法成ニ付テハ 法成リテハ 法成

十七  
八

Handwritten title or header at the top right of the page.

116  
44

一 專心保節 奉中之神訓 余之

一 拙力道 西乃方士 為入 誠心 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

一 奉獻 三行

Small handwritten mark at the bottom left.

十九日  
十二行

十八日  
二行

此の法中事の中事三つあるを以て  
音義を傳へしなり

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

此の法中事の中事三つあるを以て  
傳へしなり

廿

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

一 此の法中事の中事三つあるを以て

廿四

廿二

廿五

一 湯二部より右子

一 新成前所回書

一 十石屋敷明子

一 此中御書

一 初より一平

一 此中御書

一 此中御書

一 此中御書

一 湯信素

一 此中御書

一 此中御書

一 此中御書

一 此中御書

一 此中御書

一 此中御書

一 此中御書

一 此中御書

七行



一 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一

一 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一

湯

一 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一

一 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一

一 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一

湯

一 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一

一 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一

一 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一

湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一  
 湯治の事考言一

一 爲田河内守左衛門尉 藤原 爲光 爲光 爲光  
去春身まじりヨリ初年午二月三日 至る迄  
十一年を要しと信す 西暦二〇〇〇年

廿三

一 小呂北河内守 公九子 爲光 爲光 爲光

一 高麗 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光

一 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光  
右足長中政とて一呼一吐

一 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光

立脚は保たれり 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光  
此等より 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光  
廿三 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光  
爲光 爲光 爲光 爲光 爲光

廿三

一 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光  
此等より 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光  
廿三 爲光 爲光 爲光 爲光 爲光  
爲光 爲光 爲光 爲光 爲光

廿三  
二行

廿三  
八行

一 是の種井を於村に於て如くありて  
翁の種井より其の種井同者然るに  
津所流流の種井中より其の種井如く流流

一 此の種井より其の種井ありて其の種井  
流流の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井

下の市に於て其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井

一 是の種井より其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井  
ありて其の種井ありて其の種井ありて其の種井

以下略

一 種井

以下略

可(古)平(高)白(仁)名(元)中(下)地(等)  
其(同)之(地)名(高)白(之)名(是)其(名)也  
此(地)名(八)田(之)田(高)地(年)未(滿)也(指)地(也)  
因(是)并(高)中(元)地(田)地(之)地(名)也(何)云(也)乎  
名(也)也(也)乎(之)地(名)也(也)乎(者)也(也)乎  
岸(田)名(也)也(今)年(之)地(名)也(也)乎(也)乎

共(六)

一(期)以(守)諸(火)上(原)界(之)長(官)等(事)務(全)領  
今(力)者(也)乎(之)地(名)也(也)乎(也)乎(也)乎  
馬(二)之(名)也(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎

一(古)野(一)日(池)之(露)等(事)務(也)乎(也)乎  
昭(一)之(地)名(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎

一(地)以(地)界(下)之(地)界(也)乎(也)乎  
因(是)之(地)名(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎  
又(地)河(之)名(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎  
于(時)一(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎  
(地)界(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎  
(地)界(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎  
(地)界(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎  
(地)界(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎(也)乎

十三

一 帝曰... 御筆  
... 御筆  
... 御筆

一 聖德太子... 御筆  
... 御筆

一 高麗... 御筆  
... 御筆

勢州... 御筆

御筆

一 聖德太子... 御筆

一 聖德太子... 御筆

一 聖德太子... 御筆  
... 御筆  
... 御筆

御筆

御筆

Handwritten text on the right side of the top page, possibly a title or header.

一 書名に及ぶ... (Title and author information)

一 著者... (Author details)

一 書名... (Title details)

一 著者... (Author details)

一 書名... (Title details)

一 著者... (Author details)

一 書名... (Title details)

一 著者... (Author details)

Handwritten text on the left side of the top page.

Handwritten text on the left side of the top page.

Handwritten text on the left side of the top page.

Large area of blank, aged paper on the bottom page.

三十一

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

名法候事

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

一 潤身仁王神名事に候は 中書下

四

一 東江沿道松尾の森村に於て後述の如

く毎年一町を以て大木にして其の

以て持て出さるる河名を如左に記す

一 下年性三郎の川本深川に於て

一 三郎の川本深川に於て

一 三郎の川本深川に於て

一 三郎の川本深川に於て

一 地味下流の川本深川に於て

一 今別名を以て川本深川に於て

一 勿論此の川本深川に於て

一 如左の川本深川に於て

一 一 川本深川に於て

一 一 川本深川に於て

一 一 川本深川に於て

夕 一 川本深川に於て



一 延新...  
二 延新...  
三 延新...  
四 延新...

四行

一 延新...  
二 延新...  
三 延新...  
四 延新...

三行

一 延新...  
二 延新...  
三 延新...  
四 延新...

一 延新...  
二 延新...  
三 延新...  
四 延新...

一 延新...  
二 延新...  
三 延新...  
四 延新...

新 延新...

高子の人

高子の人

白鹿の一切

和歌

和歌

梅一

辛

後

和

和

一

和

和

和

和

和

和

和

和

和

和

又々己ニ可道 十ノ下

一 義以事有為の品はすうとあり  
富はたすも多とていふが不安なり

一 今則ち此れ中の中地を地盤とす  
入るる向ふ皆を親戚とす  
以て各々所居之方を中地とす  
下月の書跡二あり

十日

十日 乙卯入

一 場二番あり

一 義以事有為の品はすうとあり

一 義以事有為の品はすうとあり

一 義以事有為の品はすうとあり

一 義以事有為の品はすうとあり

一 義以事有為の品はすうとあり

十日

一 義以事有為の品はすうとあり

此の書は... 藤原... 今... 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

十一

一 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

十二

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

一 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

十三

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

一 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

藤原... 藤原... 藤原... 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...  
藤原... 藤原... 藤原... 藤原...

五

五

一 昔者北金... 仁向... 月...

十言

一 泗水... 川...

一 依... 未... 可...

十一言

一 久... 一 遠... 一 興... 一 國...

十二言

一 昔... 一 猶... 一 十... 一 十...

二行

六行

一 竹者培培生石。温氣亦方。橫北口。凡六

節。肉在背。子亦子。子亦子。子亦子。子亦子。

一 竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。

竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。

一 素位。素位。素位。素位。素位。素位。素位。

一 十竹

一 竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。

竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。

一 素位。素位。素位。素位。素位。素位。素位。

一 素位。素位。素位。素位。素位。素位。素位。

一 素位。素位。素位。素位。素位。素位。素位。

一 素位。素位。素位。素位。素位。素位。素位。

一 素位。素位。素位。素位。素位。素位。素位。

一 素位。素位。素位。素位。素位。素位。素位。

一 素位。素位。素位。素位。素位。素位。素位。

一 素位。素位。素位。素位。素位。素位。素位。

一 素位。

一 竹

一 竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。竹打竹。

七行

二行

サ

心算

一 陽二五九

一 後地三

一 下位形

一 十力

一 小

一 乃

一 二

一 三

二

心算

一 一

一 二

一 三

一 四

一 五

一 六

一 七

一 八

六行

二行

五行

40-15

116  
62

今日... 明日... 昨夜... 今朝...  
...  
...  
...

廿三

...  
...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

廿四

...  
...  
...

...  
...  
...

四行

六行



一 予子と有りて 少く入りて 少くも 幸成らん  
 此因道 存る 功を 成らん 少くも 幸成らん  
 一 形を して 世に 存る 本 功を 成らん 少くも 幸成らん

甘苦

一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん  
 一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん

一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん  
 一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん

甘苦

一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん  
 一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん

一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん  
 一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん

一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん

一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん

一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん  
 一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん

一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん  
 一 此 功を 成らん 少くも 幸成らん 少くも 幸成らん

中事林三正下田書林記書の口記

一 水屋三右平一

一 末河信隆中事林三正下田書林記書の口記

一 中事林三正下田書林記書の口記

一 中事林三正下田書林記書の口記

一 中事林三正下田書林記書の口記

一 中事林三正下田書林記書の口記

廿八日

一 中事林三正下田書林記書の口記

中事林三正

廿九日

一 中事林三正下田書林記書の口記

一 中事林三正下田書林記書の口記

一 中事林三正下田書林記書の口記

一 中事林三正下田書林記書の口記

一 中事林三正下田書林記書の口記

晦日

一 中事林三正下田書林記書の口記

一 中事林三正下田書林記書の口記

用日  
破美珠三不

四行

Handwritten vertical text on the right edge of the page.

三六〇の書  
油

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Handwritten vertical text column.

Robinson

July 1st 1848

Dear Sir

I have the honor to acknowledge the receipt

of your letter of the 27th inst.

in relation to the above mentioned

Yours truly

R. B.

116  
67

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter, written on aged, yellowed paper. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page. The script is highly stylized and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect used.